

事業テーマ

クラウド・カメラ・IT端末の活用による、グループホーム介護事業の効率化と収益向上計画

【対象類型】 革新的サービス

【革新的サービスとの関連性】 新規顧客層への展開、独自性・独創性の発揮、ブランド力の強化、顧客満足度の向上、価値や品質の見える化、機能分化・連携、IT利活用、サービス提供プロセスの改善

本事業への取組みの経緯・目的

【経緯】

当社では、定員18人のグループホーム「はるかぜ」の運営を平成18年10月より8年間以上行ってきた。開業当初より、厚生労働省の人員基準より多くの人員を配置して、人の目が行き届いた、安全・安心な手厚い介護を実施してきた。これが当社の強みであり、他社との差別化だった。



グループホームはるかぜ

(1)ところが、人員基準の1.5倍から2倍の人員を配置しているため、標準より人件費が高く、経営を圧迫している。

(2)入居者の安全確保の為、特に夜勤時の介護職員による介護施設の巡回や、紙ベースでの介護記録等の入力や共有では手間がかかり、介護職員の負担が大きく、疲労度が高い現状がある。

【目的】

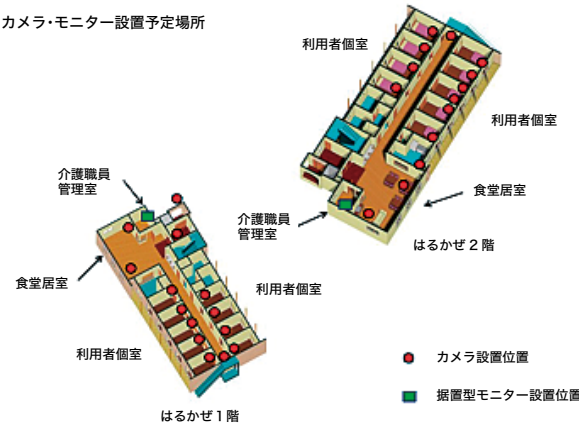
介護施設にカメラを設置し、介護職員と入居者の家族が、IT端末で入居者の動画をリアルタイムで確認できるようにする。また、介護職員が介護記録を電子化し、システムをクラウド上に構築することにより、ノウハウを共有し効率の良い作業環境を整備し労働生産性を上げる。

実施内容

介護施設にカメラを設置し、介護職員と入居者の家族のIT端末にリアルタイムで入居者の動画を配信し、安心安全な介護環境を構築することにより入居者家族の信頼に繋げる。また、介護職員が介護記録を電子化し、システムをクラウド上に構築するこ

とにより、ノウハウの共有と効率の良い作業環境を整備し労働生産性を上げる。また蓄積したデータをマーケティングに活用し、収益向上を目指している。

カメラ・モニター設置予定場所



タブレットで各部屋の様子を確認



PCで各部屋の様子を確認



カメラシステム映像



利用者居室 夜間でも写ります

事業実施の成果

運用開始して約1年であるが、カメラシステムにより、利用者様の転倒事故防止や、職員の巡回回数の合理化等、目に見えて成果が上がっている。また、その録画映像を利用して、職員の個々の動きをチェックし、そのデータを職員研修等で活用している。良い職員の動き、悪い動きを明らかにしてベストな職員の配置を明示する等、労働生産性の向上に

寄与している。また、電子化した、介護記録等は、データの蓄積が進めば 安全や行政協力、マーケティング等への活用が期待される。

今後の展望

当社では、十分な人数と質の高い介護職員による、目が行き届いた介護が特色だが、蓄積したデータを分析し、介護職員の業務の効率化と、適性に合わせた配置や、職員教育に活かして、介護現場の質を向上し、ブランド力の強化に繋げる。

また、マーケティングに活用し、競合他社とのサービスの差別化を図り、付加価値を付けることにより、収益の向上と新規の入居者の獲得に繋げる。

社長から一言

社長 鶴見 鉄雄

- ・このカメラシステムを、安全・安心はもちろん、積極的に営業活動をしていきたい。
- ・蓄積されたDATAを活用し、職員研修や千葉県全体での研修へ講師を派遣し実施していきたい。
- ・職員も事務所で利用者の様子を確認できるので、肉体的、精神的負担が軽くなっている。
- ・転倒事故もなくなり、また未然に転倒を防いでいる。
- ・日常の利用者の生活を、ご家族にビデオ映像で見せることができる。これによりご家族も喜んでおります。

企業データ

【主な事業・業種】 社会保険・社会福祉・介護事業

【得意分野】 介護事業

所在地：【本社】〒273-0047 千葉県船橋市藤原8-1-2-206
【事業実施場所】

〒270-1505 千葉県印旛郡栄町竜角寺4-18-1

TEL：【本社】047-430-3923 【事業実施場所】0476-85-1005

FAX：【本社】0476-80-1020 【事業実施場所】0476-80-1020

E-mail：tsurumilc@ybb.ne.jp

設 立：平成16年12月

代表者：代表取締役 鶴見 鉄雄

従業員数：28名

資本金：1,000万円

売上高：1億円(平成28年度)